

# 将来の自分につなげるための家庭科

社会問題となっているフリーター、ニート、無気力な大人の増加は、若年層の人生に対する意識・意欲の曖昧さのあらわれである。自分の人生について考える機会は少ない。

本題材に対する生徒の関心は個人差が大きいと考えられる。また、明確な意思を持った生徒でも、人生観は変化する可能性があるため、人生について考える機会は多いほうが良い。

今回は、卒業を目前に控えた3年生に、今までの家庭分野で勉強した内容をふまえて、今後の人生をどのように展開したいかを考えさせるために、実習形式の人生設計を行った。

## 1. はじめに

中学校家庭分野の目標は、「衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これから的生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。」である。

しかし現場では、「なぜ家庭科を勉強するのかがわからない。」という生徒が多くおり、学習意欲がわかない生徒がいる。学習したことを現在の生活だけではなく、将来にも活かしてほしい、未来の自分を意識しながら、常に行動を起こして欲しいという気持ちから、現在の生活を見直すためには、将来自分がどんな生活をしたいかを具体的に考えることが効果的であるのではないかと考えた。

また、家庭分野の評価の観点の趣旨においても、「これから的生活を展望して家庭生活をよりよくするためには進んで実践しようとする。」と記載がある。

そこで、楽しみながら将来の自分を考えさせるために、絵日記形式のワークシートに取り組ませた。

## 2. 目標

未来の自分を具体的にイメージし文章と絵で表現させることで、自分の人生を主体的に考える動機付けを行うとともに、多様な人生観・価値観を尊重する姿勢を育てる。既存の学習内容の意義をふりかえり、今後の学習意欲を高める。

## 3. 本時の展開

本時の展開を表1に示す。授業の前半は、ワークシート（図1、2）により展開する。まず、自分自身が人生において大切に思っていることは何か考えさせる。次に人生時計の話をし、中学3年生は人生のはじまりの時期であることを伝える。そのことにより、ある程度の計画性が必要であることを意識させる。

次に、自分が10年後、何を持っていたいかを具体的に記入させる。ここで、ある程度自分の将来の生活を考えることができる。最後に、図3のワークシートを用いて、将来の自分になりきり、絵日記を書かせる。

## 4. 評価方法

ワークシート、授業中の態度を対象とし、以下の4つの観点から総合的に評価する。

- ①多様な人生観・価値観の存在が把握できたか。
- ②人生全体における中学3年生の位置、残り時間の長さを考え、計画立案の重要性がわかったか。
- ③ライフイベントに対して自分自身の場合を考えることができたか。
- ④人生に対し肯定的な姿勢をもち、自分の将来像をイメージすることができたか。

## 5. おわりに

記入したワークシートは、採点後、封筒に入れて保存しておく（封筒には授業中に個人で住所を記入）。そして10年後、各家庭へ郵送し、生徒の手元に返す予定である。家庭分野で学んだことを意識しながら、毎日の生活を意識的に過ごして成長して欲しいと思う。

表1（時案）

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	配時	形態	教材・教具
導入	本時の説明	本時の内容を知る。	ワークシートを配布し、本時の内容を説明する。	3分	一斉	
展開①	究極の選択 ～あなたならどうする？～	プライオリティについて知る。	4つの異なる人生を紹介し、1つ選ばせて理由とともにワークシートに記入させ、全体で挙手させる。	10分	一斉	ワークシート、マグネット資料
展開②	人生時計～中学3年生は何時くらい？～	人生時計について知る。	中学3年生は人生の始まりの時期であることを説明する。	10分	一斉	マグネット資料
展開③	「なりたい自分」は、どんな自分？	今後起こりうるライフイベントの選択について、自分自身の場合を想定する。	机間巡回をし、生徒の半数以上が記入を終えた段階で、展開③で使用する「未来日記」ワークシートを配布する。	10分	個人	
展開④	ワークシート「未来日記」の作成	未来の自分（何年後でもOK）をイメージし、絵日記風に書く。 完成した生徒から提出する。	未来日記作成の説明をする。 机間巡回を行い、全体に目を配る。 授業終了5分前から提出を呼びかける。	15分	個人	ワークシート「未来日記」
まとめ	本時のまとめ		全員着席させ、挨拶をし、授業を終了する。	2分	一斉	

図2（ワークシート）

<ワーク2>

1日 0 6 12 18 24

人生時計 0 20 40 60 80

中学3年生(15歳)は、1日にたとえると [②] 時  
「まだ」「もう」？あなたはどう感じましたか？

<ワーク3>

『人間は自分が描いた以上の人ににはなれない』  
『しかし、描いたところまではいける』

人生設計で大切なことは、「こうなりたい！」という自分のイメージをもつことです。  
10年後の自分をイメージして、具体的に書いてみましょう。

何歳ですか
どこに住んでいますか (東大阪、東京、海外、都会、田舎)
どのような住まいですか (マンション、一軒家、庭がある家)
誰と一緒に暮らしていますか (一人暮らし、未来の結婚相手、ペット)
仕事を何をしていますか? (バリバリ働きたい?)
仕事以外の時間は何をしていますか (旅行、勉強、テニス…それとも仕事中心?)
服装、髪型、容姿はどんな感じですか (どんな服を着てみたい?)
結婚はしたい？子どもは欲しい? (何歳でしたい? 何人欲しい?)
何を持っていったい? (車、家、免許、友情、家族、モノより思い出?)

図1（ワークシート）

家庭科プリント 16

生活をつくる（ライフプランニング・将来設計をしてみよう！）

組番名前

<ワーク1>

次の4種類の人生のうち、どれか1つと入れかわらなければいけないことになりました。あなたならどれを選びますか？

①大金持ちの王様（メリット：大金持ち デメリット：自由がない）  
 ②自由な野良猫（メリット：自由気ままな生活 デメリット：孤独で不安定）  
 ③ミッキーマウス（メリット：仕事のやりがいあり。 デメリット：自由がない）  
 ④スーパーモデル（メリット：見た目の美しさあり デメリット：ストーカーに狙われるかも…）

私が選ぶ人生は【① ② ③ ④】です。

その理由は…

人生において大切に思っていることは  
人それぞれ違うんだにゅー

人生における優先順位を  
【①】と  
いうんだにゅー

プライオリティは、  
ライフプランニングの  
ヒントになるんだにゅー

ライフプランニングとは、人生設計のことです。  
将来、何歳で何がしたいか、具体的に考えて、計画をたてること。  
さあ、実際にやってみましょう！

図3（未来日記ワークシート）

未 来 日 記

年	月	日
組番名前		